
完全に柔軟な設定によるシングルアクティベーション

Note

デフォルト設定は簡単アクティブですが、例外的な場合にのみ完全柔軟が適用可能です。例えば、Primo Central から CDI に移行した顧客の場合です。

CDIレコードタイプに関するユーザーの視点

ユーザーの観点から、検索結果に表示される可能性のあるレコードには2つのタイプがあります：

- 利用可能 – フルテキスト利用可能としてフラグが設定されているレコード。
- 検索可能 – フルテキスト表示不可としてフラグが設定されているレコードで、検索のみ可能です。

Primoのほとんどのユーザーは、ユーザーの初期検索を利用可否によってフィルタリングします。つまり、検索結果には、フルテキスト利用可能としてフラグが設定されているアイテムのみが含まれます。検索を実行した後、ユーザーは[図書館コレクションを超えて展開]リンクを選択して、検索結果で[フルテキスト検索不可]のフラグが設定されているレコードを表示することもできます。これらのオプションは、フィルター処理および拡張検索と呼ばれます。一部のPrimoの顧客は、拡張検索から始めて、ユーザーが最上位のファセットを使用して利用可否でフィルタリングできるようにしています。

Note

Almaでのポートフォリオアクティベーションの場合、開始/終了年、月、日フィールドのみ(ボリュームフィールドと発行フィールドではありません)がCDI利用可否の計算に使用されます。

Almaでのシングルアクティベーション

あなたがアクティブにしているAlmaコレクション（その全文に購読しているため）は、CDIで自動的に検索可能になります。それらのコレクションには、別途検索の有効化は必要ありません。

検索のアクティベーションは、フルテキストに対してアクティベートされていないコレクションまたはポートフォリオに対してのみ必要ですが、それでもユーザーに見つけてもらいたい場合があります。展開された検索では、フルテキスト利用不可というフラグが立てられて表示されます。また、CDIでのインデックス作成用にメタデータを提供しないプロバイダーに対しては、代替カバレッジコレクションを有効にする必要もありません。あなたの全文の有効化に基づき、CDIは自動的にインデックス全体をチェックして、所蔵に一致するメタデータを検索可能にします。

これは次のように機能します：

Almaは、以下の情報を含む複数のデータセット（機関所蔵ファイル）をCDIに公開します：

- 全文の可用性（Almaでのすべてのアクティブな全文）：これは、フィルター付き検索でCDIに返されるレコードに影響

響を与えます（それらを利用可能としてフラグ付けし、フィルター付き検索で発見可能にします）。

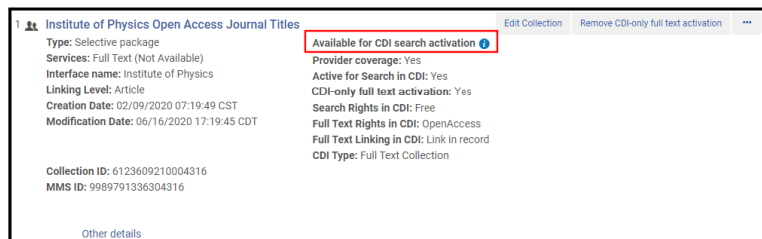
- 検索の可用性（検索のために有効化したすべてのコレクション）：これは、拡張検索でCDIに返されるレコードに影響を与えます（全文で利用できず、上記の項目に該当しないアイテム）。

リンクパラメータの詳細については、[CDIリンクの顧客リンクパラメータ](#)をご覧ください。

Almaを使って、CDIで検索可能なものと利用可能なものを管理する

Almaの3つの設定により、機関はどのアイテムを検索可能にするか、どのアイテムをCDIで利用可能とするフラグを立てるかをコントロールすることができます：

1. Almaでアクティブなすべてのフルテキストコレクションは、検索の有効化ステータスに関係なく、デフォルトで検索可能です。たとえば、ポートフォリオを含むコレクションの場合、ポートフォリオリスト全体がCDIに公開され、CDIは所蔵を索引のコンテンツにマッピングします。これは、CDI検索の利用可能を有効化しているかどうかにかかわらず、すべてのコレクションに適用されます。CDI検索のアクティベートに利用可能フラグは、フルテキストのアクティベートとは別に、検索用にアクティベートできるコレクションに関連付けられています。これは、ユーザーがアクティブなフルテキスト以外のコンテンツを発見したい場合に便利です。AlmaからCDIへの公開プロセスにより、すべてフルテキストコレクションの有効化が索引全体のメタデータを最大限に活用して、それらが検出可能になるようにします。これは、ポートフォリオレベルでマッピングするため、プロバイダーからのメタデータに直接索引を付けないフルテキストコレクションにも当てはまります。このようなコレクションの代替カバレッジを可能な限り実現するために、他のどのコレクションを有効にするかを確認する必要はありません。索引は、コレクション全体で索引内の任意の場所を単純にチェックし、利用可能なメタデータを使用します。例外ルールを適用してアクティブなフルテキストを抑制しない限り、このコンテンツはすべてフィルタリングされた検索に表示されます。



許可された検索とフルテキストの個別の有効化

2. 設定1の例外を適用して、Almaからのアクティブなフルテキストコレクションを抑制し、CDIでフルテキストが利用できませんと表示することができます。

図書館ユーザーの観点から、Almaのフルテキストコレクションまたはアイテムの有効化は、主に2つの目的を果たします：

- それらをディスカバリーでフルテキスト利用可能としてマークすること、および
- リンクリゾルバーを介してフルテキストリンクを利用できるようにすること。

オープンアクセスコレクションなど、特定のコレクションのコンテンツがPrimoの結果に表示されないようにします。リンクリゾルバーでフルテキストのみをアクティブにしたいものの、ユーザーの結果リストが乱雑になる可能性があるため、検出時に絞込まれた検索に同じフルテキストが表示されないというケースがあるためです。このような場合には、アクティブなフルテキストを抑制オプション（Alma設定でアクティブであっても、CDIでフルテキスト利用可能として表示しない）を使用することができます。これにより、コンテンツがアクティブであり、抑制されていない別のコレクションからも利用可能でない限り、利用可能としてフラグが立てられないようになります。コ

レクシオンは引き続きリンクリゾルバに表示され、ユーザーは他の検索エンジンまたはプラットフォームからアクセスしたときにフルテキストにリンクできます。フルテキストが抑制されているコレクションのコンテンツも、検索用にアクティブに設定されていない限り、または同じコンテンツが他のアクティブなコレクションから利用可能でない限り、展開検索で検索できません。

The screenshot shows the 'CDI' tab in the 'Electronic Collection Description' interface. Under 'CDI Institution Settings', there are several options: 'CDI Search activation status' (Active/Not Active), 'We subscribe to only some titles in this collection' (Yes/No), and 'Do not show as Full Text available in CDI even if active in Alma' (checked). Below this is a 'Local Notes' text area. At the bottom, there is a table of collection details:

CDI Collection ID	.ZPAAAGV,ABEUQ,ABYLZ,ADYKR,AEMLDU,AGSYK,HWOJ	In CDI	Yes
Provider coverage	-	Number of records	1041377
Resource Types	conference proceeding, ejournal, journal, ebook, web	CDI update frequency	Monthly
	resource	Search Rights in CDI	Free
Full Text Rights in CDI	Subscription (Linkresolver)	Full Text Linking in CDI	Linkresolver

アクティブなフルテキストを非表示にする

3. **CDI検索のアクティベートに利用可能とマークされているすべてのコレクションは、検索のためにアクティベートすることができます。この意味は：**

- それらは検索結果に表示されますが、Almaの同じコレクションを介してフルテキストがアクティブであるか、同じアイテムが含まれている場合は別のコレクションを介してアクティブなフルテキストも存在する場合にのみ、利用可能としてフラグが立てられます。
- 検索がアクティブなコレクション内のアイテムに使用できるフルテキストがない場合は、拡張検索に表示されません。

Almaのコレクションは、コンテンツの80%以上が索引化されている場合、CDI検索の有効化に利用可能とマークされます（プロバイダから直接、または代替データソースから）。プライマリパブリッシャー、ProQuest、Galeなど、プロバイダーから直接索引が作成されたコレクションの場合、カバー率は100%です。プロバイダーから直接データを取得しない場合、(KnowledgeBaseにリストされている)そのコンテンツは、索引全体に対してマッピングされ、それに応じて重複のパーセンテージが計算されます。

Almaの2020年5月発売に先立ち、購読が検索可能である必要があるコレクション（たとえば、A&Iデータベース）は、検索可能であるためにAlmaでアクティブである必要があります。そのようなコレクションはAlmaに**CDIの検索権：購読**としてマークされています。これは変更され、Almaでは、機関が検索の購読を必要とするコレクションの**検索有効化機能**を使用できるようになりました。両方のタイプの有効化(フルテキスト有効化とCDI検索有効化)が可能になりました。すでにアクティベートされているコレクションには変更を加える必要はありません。これらのタイプのコレクションを引き続き完全にアクティベートできます。さらに、CDIでの検索の有効化も可能になり、完全な有効化と同じ効果があります。両方のタイプの有効化により、コレクションがCDIで確実に検出可能になります。

電子コレクションエディタのCDIタブのコレクションの一部のタイトルのみを購読する設定

はいに設定すると、CDIはこのコレクションの有効なポートフォリオにコンテンツを合わせます。いいえに設定すると、CDIはこのコレクションのすべてのコンテンツを、個々のポートフォリオとのマッチングなしにフルテキスト利用可能にします。この設定は一般的に、次のように使用されます(以下のコレクションリンクタイプ別の推奨設定も確認してください)：

- 選択的な購読（コンテンツの一部のみを購読する）を示す場合は、はいを選択します。

- このコレクションの非選択的購読（コレクション内のすべてのコンテンツを購読すること）を示す場合は、いいえを選択します。
- これは、そのようなコレクションの購入方法とは無関係であり、一部のライブラリではアグリゲーターパッケージに選択的な設定を使用していることに注意してください。したがって、CDIのこの設定は、それらのリソースへの購読が必ずしも選択的であることを意味するものではありません。

このオプションは、アグリゲーター/選択可能コレクションでのみ使用できます（ポートフォリオが存在しないデータベースタイプのコレクションでは使用できません）。デフォルト値ははい（選択的購読）です。

コレクションリンクタイプ別のおすすめ設定：

- レコード内のリンク – Almaにポートフォリオがあるレコードタイプのコレクションで、コレクション全体を機関が購読しているレコード内のリンクについては、コレクションの一部のタイトルのみを購読する設定を「いいえ」に変更することをお勧めします。これにより、コレクション全体にフルテキスト利用可能のフラグが立てられます。Almaのアクティベーションウィザードは、Alma 2021年1月リリースで変更され、レコード内のリンクタイプのコレクションのデフォルトとして設定されます。

Yesに設定されている場合、AlmaでアクティブなポートフォリオのみがCDI所蔵ファイルに含まれ、CDIで一致が見つかり、レコードにフルテキスト利用可能が表示される場合に限り、CDIはISSNやISBNなどの標準的な識別子にのみマッチするため、IDのないコンテンツを持つコレクションでは、フルテキストが利用可能と表示されるレコードが少なくなります。

- リンクリゾルバ – 特にAlmaで部分的に有効化が行われ、すべてのポートフォリオが有効になっていない場合には、コレクションの一部のタイトルのみを購読する設定 オプション（これはデフォルトの設定です）をはいに設定しておくことをお勧めします。このオプションをいいえに設定すると、CDIのレコードとAlma CKBの間 mismatchesにより、CDIでのリンク問題が発生する可能性が高くなります。
- ハイブリッド – **[コレクション内の一部のタイトルのみを購読する]** オプションを**[いいえ]**に設定することをお勧めします。詳細については、[「CDIのハイブリッドコレクション」](#)を参照してください。

「CDIのみのフルテキスト有効化」オプション

CDIのみのフルテキスト有効化オプションは、AlmaUIの次の領域にあります。

- 電子コレクションエディタの[CDI]タブ。
- IZコレクションリストのアクションメニュー。

このオプションは、**CDI検索有効化に利用可能**フィールドがはいに設定され、以下の条件の少なくとも1つが満たされている場合、コレクションに対して表示されます：

- **CDI全文リンク**フィールドはレコード内のリンク（リンクリゾルバではない）に設定されています。
- **CDIタイプ**は、コレクションにポートフォリオがあるかどうかに関わらず、**A&I** データベースに設定されています。
- **CDIタイプ**はハイブリッドに、**Alma** コレクションタイプはデータベースに設定されています。

効果：

はいに設定した場合、コレクションがCDIゼロタイトルの所蔵ファイルに追加され、次の結果が得られます：

1. コレクションがCDIでフルテキストデータベースとして定義されている場合、コレクション内のすべてのレコードは、PrimoUIで利用可能なフルテキストとしてフラグが立てられ、フィルタリングされた検索に表示されます。フルテキスト入手可能フラグはコレクションレベルで継承されます。個々のポートフォリオ設定が存在する場合、それらは無視されます。
2. コレクションがCDIでA&Iデータベースとして定義されている場合、コレクションのコンテンツはCDIで検索可能となります。(フルテキスト利用可能フラグは、Almaのすべてのフルテキストコレクションにわたってフルテキストのアクティベーションに依存します)。

このオプションを使用する理由：

このオプションは、図書館がコレクションとその内容をCDIで発見可能にしたいが、Primoローカルインデックスやリンクリゾルバーに表示させたくない場合に使用できます。

このオプションの使用方法：

1. 「アクティベーションウィザード」を使用するか、またはCDIで検索するためのコレクションをアクティベート化することによって、コレクションがインスティテューションゾーンに存在することを検証します。
2. 電子コレクションを編集します。CDI タブで、CDI のみの全文を有効化 チェックボックスを選択します。

Note

CDIのみのフルテキストのポートフォリオとリンクパラメータを含むコレクションをアクティブ化する場合は、CDIリンクが期待どおりに機能するように、電子サービスエディタでリンクパラメータを入力する必要があります。リンクパラメータの詳細については、[CDIリンクの顧客リンクパラメータ](#)を参照してください。

Almaでアクティブな場合でも、CDIで利用可能なフルテキストとして表示しない

このオプションは、Alma UIの次の領域に表示されます。

- 電子コレクションエディタの[CDI]タブ。

さらに、次の設定のコレクションに対してオプションが表示されます：

1. **CDI検索の有効化に使用可能フィールド**がはいに設定されています。
2. **CDI検索の有効化に使用可能**はいいえに設定されていますが、コレクションにはAlmaのポートフォリオがあります。

結果：

1. コレクションのすべてのポートフォリオは、CDI所蔵ファイルから削除されます。これにより、コンテンツがアクティブで抑制されていない別のコレクションからも利用可能でない限り、コンテンツに「フルテキスト利用可能」のフラグが付けられなくなります。
2. コレクションは引き続きリンクリゾルバに表示され、ユーザーは他の検索エンジンまたはプラットフォームからアクセスしたときにフルテキストにリンクできます。
3. フルテキストが抑制されているコレクションのコンテンツも、検索用にアクティブに設定されていない限り、または同じコンテンツが他のアクティブなコレクションから利用可能でない限り、展開検索で検索できません。
4. ローカル 書誌レコードは影響を受けず、検出のためにローカルPrimo索引に公開されます。

このオプションを使用する理由：

1. オープンアクセスコレクションなど、特定のコレクションのコンテンツがPrimoの結果に表示されないようにします。リンクリゾルバでフルテキストのみをアクティブにしたいが、ユーザーの結果リストが乱雑になる可能性があるため、**検出時に絞り込まれた検索**と同じフルテキストが表示されないようにするためです。
2. 書誌レコードがPrimoローカルに公開され、さらにCDIレコードが結果リストに表示される電子書籍の重複結果を防止します。このオプションは、CDIレコードが結果リストに表示されないようにします。これにより、CDIのチャプターレベルのレコードも削除されることに注意してください。

よくある質問- 有効化と有効化設定

書籍のコレクションだけを有効にしているのに、なぜ書籍の章が**検索結果**に表示されるのですか？

Almaで書籍がフルテキストに対応している場合、CDIで索引付けされていれば、その書籍の章も**検索可能**であり、フルテキストが利用可能であるというフラグが立てられます。これは、参照コレクションにも適用されます。たとえば、参考書籍がアクティブである場合、個々のエントリも**検索可能**であり、CDIで索引付けされている場合はフルテキストが利用可能であるというフラグが立てられます。

アクティベートされた**Open Access**コレクションのコンテンツを、ユーザーのディスカバリー**検索結果**ではなく、リンクリゾルバに表示させるにはどうしたらよいでしょうか。

コレクションをアクティブにした後、アクティブなフルテキストを抑制オプション（AlmaでアクティブにしてもCDIではフルテキスト利用可能として表示しない）を使用すると、CDIの結果リストにそのコンテンツが利用可能として表示されなくなります。その結果、フィルタされた**検索**には結果がまったく表示されませんが、ユーザーが他のソース（GoogleScholarやA&Iデータベースなど）から取得したリンクリゾルバを使用すると、リンクは引き続き表示されます。同じコンテンツがAlmaの複数のコレクションで利用可能でアクティブであるものの、1つのコレクションでのみ抑制されている場合、コンテンツは抑制されず、CDIで引き続き利用可能として表示されることに注意してください。アクティブになっているすべてのコレクションで抑制されている場合にのみ、使用不可のフラグが立てられます。

Almaのアクティブなフルテキストの抑制設定はどこにありますか？

この設定は、電子コレクションエディタのCDIタブで利用可能です。Almaのインターフェイスでは、Almaで有効であっても、CDIではフルテキスト利用可能として表示しないという設定になっています。

The screenshot shows the 'CDI Institution Settings' page in Alma. At the top, there are tabs for 'Electronic Collection Description', 'General', 'Additional', 'Notes', 'History', and 'CDI'. Under 'CDI Institution Settings', there are two radio buttons for 'CDI Search activation status' (Active and Not Active, with Not Active selected) and two radio buttons for 'We subscribe to only some titles in this collection' (Yes and No, with Yes selected). A checkbox labeled 'Do not show as Full Text available in CDI even if active in Alma' is checked and highlighted with a red box. Below this is a 'Local Notes' text area. At the bottom, there is a table of collection details:

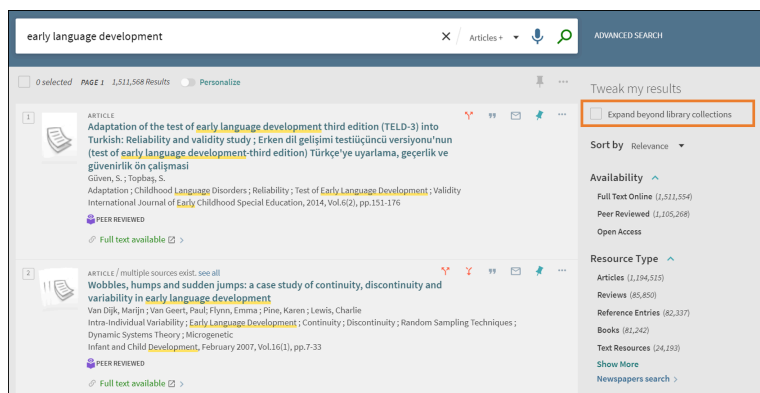
CDI Collection ID	.2PAAAGV,ABEUQ,ABYLZ,ADYKR,AEMDU,AGSYK,HWJ	In CDI	Yes
Provider coverage	-	Number of records	1041377
Resource Types	conference proceeding, ejournal, journal, ebook, web resource	CDI update frequency	Monthly
Full Text Rights in CDI	Subscription (Linkresolver)	Search Rights in CDI	Free
		Full Text Linking in CDI	Linkresolver

Almaでアクティブなフルテキストが非表示になっているコレクションのコンテンツが、CDIで引き続き利用可能として表示されるのはなぜですか？

コンテンツは、Almaで非表示にしたコレクションに固有のものではない可能性があります。抑制されていない別のコレクションで同じコンテンツがアクティブな場合、CDIでは引き続き利用可能として表示されます。それがアクティブになっているすべてのコレクションで抑制されている場合にのみ、CDI結果リストで使用不可としてフラグが立てられます。

フィルタリングされた検索とは何ですか？

ほとんどのユーザーは、検索結果の中で、最初はユーザーが利用可能なアイテムのみをフルテキストで表示します。技術的には、結果は、利用可能であるとフラグが立てられたものによってフィルタリングされるため、フィルタリング検索と呼ばれています。ユーザーが図書館のコレクションを超えて拡張するオプションで、フルテキストのない他のレコードが表示されます。



フィルタリングされた検索

プロバイダーがExLibris検出システムとメタデータを共有していない場合でも、コレクションが「CDI検索の有効化に使用可能」とマークされているのはなぜですか？

コレクションは、カバー率が80%以上で、コレクションがフルテキストのアクティベーションとは別に検索のためにアクティベートできる場合、CDI検索のアクティベートに使用可能とマークされます。これは、これらのコレクションのコンテンツの少なくとも80%が、他のデータソースからのCDIで索引付けされていることを意味します。

CDIを使用しても、プロバイダーから直接索引が作成されていないコレクションの代替カバレッジコレクションをアクティベートする必要がありますか？

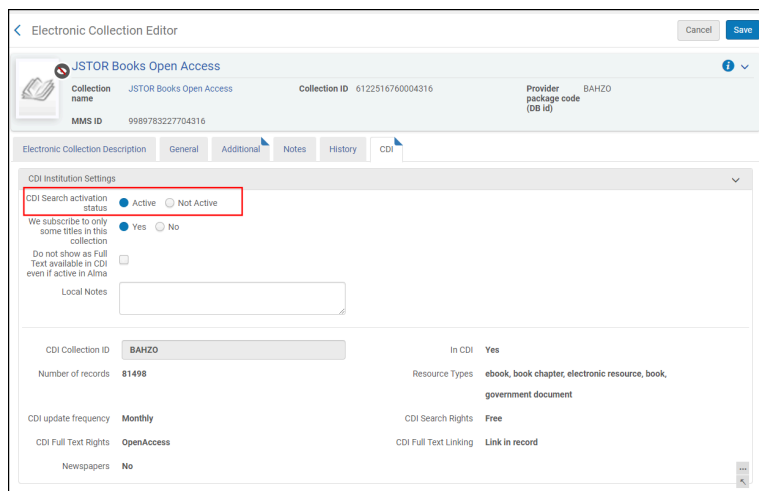
フルテキストがあるコレクションには使用できません。プロバイダーから直接索引が作成されていないフルテキストコレクションをアクティブにした場合、CDIは索引内の他のコレクションのメタデータを自動的に使用し、コンテンツは引き続き検索可能となります。さらに、代替カバレッジコレクションを見つけてアクティベートする必要はありません。フルテキストがないコンテンツを検索可能にしたい場合で、プロバイダーから直接そのコンテンツに索引を付けていない場合でも、代替カバレッジコレクションをアクティブにする必要があります。

出版社から購読しているコレクションの中には、Almaで **CDI検索**の有効化に使用可能なフラグが立っていないものがあります。これらのコレクションやこの発行元の他のコレクションが**検出可能**であることを確認するにはどうすればよいですか？

すべてのフルテキストポートフォリオは、**CDI検索**の有効化に使用可能なフラグが設定されているコレクションから来ているかどうかに関わらず、自動的にCDIに公開されます。追加の**検索有効化**は必要ありません。**CDI検索**のアクティベートに使用可能なフラグが存在する場合、これはコレクションをディスカバリーのためにマークし、そのフルテキストをアクティブにすることができることを示しています。これは、ユーザーにまだ見つけてもらいたいフルテキストがないコンテンツがある場合に役立ちます。コレクションに対してこの**検索**を有効にした場合、そのコンテンツは、他のコレクションからフルテキストで入手できる場合を除き、Primoの**拡張検索**に表示され、その利用可能性はフルテキストは利用できませんとして表示されます。

ドキュメントではフルテキストが自動的に利用可能となっているのに、電子コレクションエディターの**CDI**タブに「**CDI検索有効化ステータス**」フィールドがあるのはなぜですか？

CDI検索のアクティベーションステータスフィールドの設定に関わらず、CZのコレクションに対してアクティベートされたすべてのポートフォリオは、CDIで自動的に**検索可能**になります。コレクション内の非アクティブなポートフォリオは、コレクションの **CDI検索**のアクティベーションステータスフィールドをアクティブにしない限り、Primoでは**検索**できません。コレクション内のすべてのポートフォリオがAlmaですでにアクティブになっている場合、このフィールドの設定またはクリアはPrimoでの**検索結果**には影響しません。



The screenshot shows the 'Electronic Collection Editor' interface for 'JSTOR Books Open Access'. The 'CDI' tab is selected, and the 'CDI Search activation status' is set to 'Active'. Other settings include 'We subscribe to only some titles in this collection' (Yes), 'Do not show as Full Text available in CDI even if active in Alma' (unchecked), and 'Local Notes' (empty). The 'CDI Collection ID' is 'BAHZO', 'In CDI' is 'Yes', 'Number of records' is '81498', 'Resource Types' are 'ebook, book chapter, electronic resource, book, government document', 'CDI update frequency' is 'Monthly', 'CDI Search Rights' is 'Free', 'CDI Full Text Rights' is 'OpenAccess', 'CDI Full Text Linking' is 'Link in record', and 'Newspapers' is 'No'.

電子コレクションエディター - **CDI**検索のアクティベーションステータス

CDIで重複した電子書籍レコードが表示されるのはなぜですか？

この質問については、[Discoveryの電子書籍](#)を参照してください。